

## 研究課題の名称

外来診療介助中のリフレッシュ方法とその効果

## 研究の目的及び意義

厚生労働省は在院日数を短縮化し、地域完結型の医療を推進する方針を掲げている。そのため、術前查はほぼ外来へ移行し、化学療法や放射線療法も外来で行うことが多くなっている。これに伴い専門性の高い診療介助や業務量の増加により、外来看護師の中には精神的・肉体的負担が増したと感じて、る者も少なくない。外来診療は朝から夕方まで継続して行われている時もあり、外来看護師はストレス回避のため無意識に何らかの気持ちの切り替えを行っているのではないかと考えた。そこで、外来看護のストレスに対する気持ちの切り替え方の調査を行い、リフレッシュ方法とその効果について明らかにする。

## 研究対象者の選定方針

洛和会音羽病院外来看護師の内、診療介助に付いている、常勤、非常勤で研究に同意を得られた者。

研究予定期間      承認日（2018年8月31日）から西暦2019年2月28日